

報道関係者各位

東京ビエンナーレ 2020/2021
アン・サンスー（安 尚秀）《one eye project》公開のお知らせ



アン・サンスー 《one eye project》 2021年

韓国におけるタイポグラフィのパイオニアであり、グラフィックデザインを牽引してきたアン・サンスー（安 尚秀）（タイポグラファー、グラフィックデザイナー、アーティスト）は、東京ビエンナーレ 2020/2021において、VR作品《one eye project》を公開しました。氏は2012年にデザイン学校「PaTI（Paju Typography Institute）」を設立した教育者でもあります。VR作品上の舞台を東京都立工芸高等学校（東京都文京区本郷1丁目3-9）に設定しており、芸術と社会教育の関係性に焦点を当てたプロジェクトとも換言できるでしょう。会期中には中村政人（東京ビエンナーレ 2020/2021 総合ディレクター／アーティスト）とともに、生徒との対話集会を予定しております。オンラインでのVR作品として完結させるばかりではなく、社会の中における人々との関係性に照準を合わせながら、プロジェクトを実施いたします。

(1)公開概要

日 程：2021年7月23日(金)～9月5日(日)

形 式：VR作品（オンライン鑑賞）

主 催：一般社団法人東京ビエンナーレ

協 力：東京都立工芸高等学校

視聴方法：東京ビエンナーレ 2020/2021 パスポートを購入後、次の+EX ページより閲覧

<https://tb2020.jp/project/one-eye-project/>

(2)プロジェクト紹介

《one eye project》は、1988年から今日まで継続している写真プロジェクトです。最初の《one eye photo》は、1988年から2000年まで創刊していた伝説的な文化雑誌『bogoseo/bogoseo』の表紙のた

めに制作されました。その際には、片手で目を覆ったセルフポートレート写真を掲載しています。それ以来、アン・サンスーは日々の生活で出会った人々の、《one eye photo》を撮影し続けてきました。2003年にはブログ (<http://ssahn.com/>) を開設し、今日に至るまで約 10,000 日に渡って、日付と名前を記した《one eye photo》を掲載しています。同プロジェクトは 2012 年以來、ソウル、東京、香港、深圳をはじめとして多様な都市の展覧会や芸術祭に招聘されてきました。アン・サンスーは「誰かと初めて出会った時は、大事な世界が開かれるようである」という信念を持っていることから、このプロジェクトは生活の認識と尊敬についての本当の喜びに関わっていると言えるでしょう。また彼の日々の誠実さに加え、パフォーマンス的な要素も垣間見ることができます。無作為に出会った人々に対して片目を覆うようお願いし、カメラの前に立ってもらうその依頼は「ハプニング」を生み出すための指令、あるいは楽譜のようだともいえます。人々との出会い、片目になってもらうことの依頼、写真の撮影、ファイルの保存、オンラインへの共有という一連の行為は、身振りを用いた言語によらない反復的なパフォーマンスとも捉えられるでしょう。

(3)作家について

アン・サンスー (安 尚秀) (デザイナー)



1952年、忠州市（韓国）生まれ。タイポグラファー、グラフィックデザイナー、アーティスト。弘益大学（ソウル）で学ぶ。2001年、ロンドンのキングストン大学より名誉デザイン博士号を授与される。1988年からアンダーグラウンド・アート・カルチャー誌「Report/レポート」の編集者兼アートディレクターを務める。1991年から弘益大学でタイポグラフィの教授を務め、2013年に退任。2018年にSeMA（ソウル美術館）で開催された「Nalgae-PaTI」展をはじめ、多くの個展&グループ展を開催。2001年から2017年までタイポジャンチ（ソウル・タイポグラフィ・ビエンナーレ）の議長を務め、1998年にはZgraf8のグランプリ、2007年にはドイツ・ライプチヒのゲーテンベルク賞を受賞しています。また、香港のDFA Lifetime Achievement Awardを受賞。2013年、韓国のPaju BookcityにPaTI（Paju Typography Institute）というインディペンデントのデザインスクールを設立した。また、中国北京CAFA（Central Academy of Fine Arts）にて教授を務める。

(4)「東京ビエンナーレ 2020/2021」とは

東京ビエンナーレとは、“東京”のまちを舞台に“2年に1度”開催する国際芸術祭です。世界中から幅広いジャンルの作家やクリエイターが東京のまちに集結し、まちに深く入り込み、地域住民の方々と一緒に作り上げていく新しいタイプの芸術祭です。歴史的文化的色濃く残る都内の北東エリアを中心に、公共空間や格好空間、寺社会堂、歴史的建造物、公開空地など様々な日常空間を使って作品を展開します。



【お問い合わせ先】

一般社団法人 東京ビエンナーレ

〒101-0021 東京都千代田区外神田 6 丁目 11-14 アーツ千代田 3331 内

TEL:03-5816-3220 / FAX:03-5816-3221

E-Mail: pr@tokyobiennale.jp <担当:市川> <https://tb2020.jp>